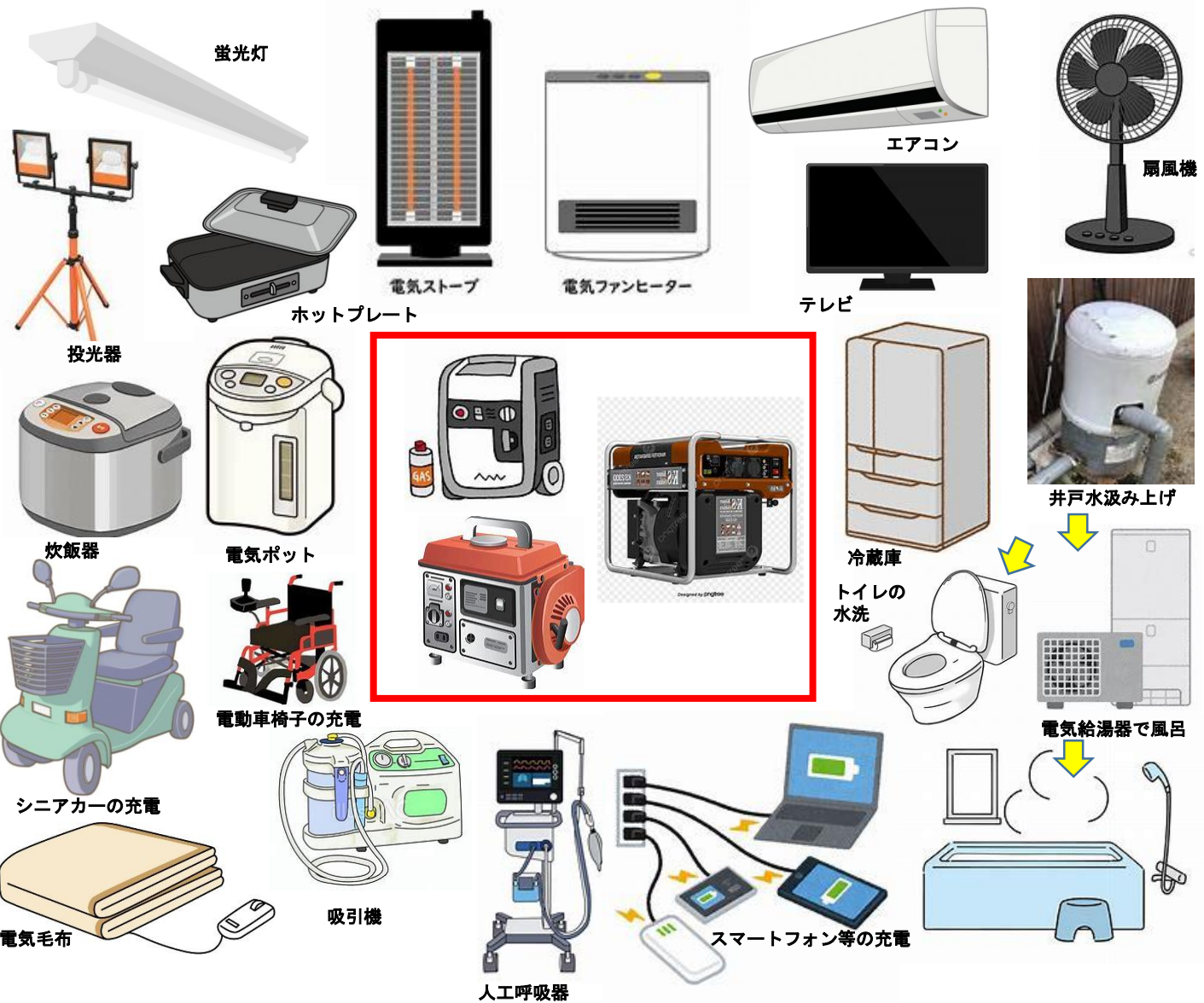


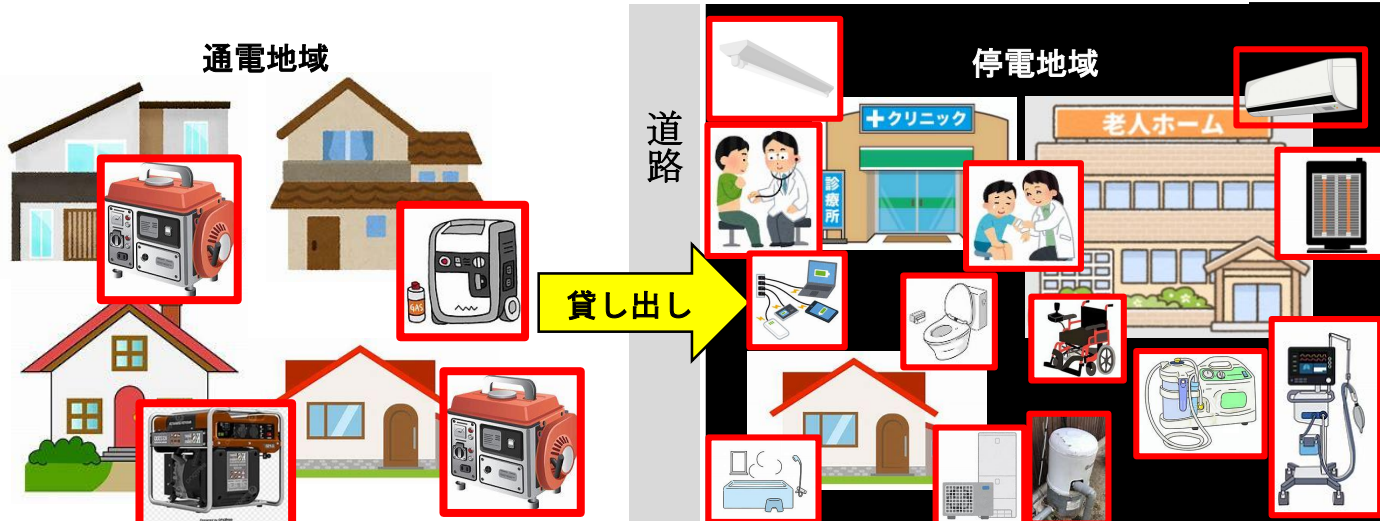
災害時、発電機で色々な電気器具が使えますよ!!



注：発電機の定格出力で使用できない電気機器があります。使用する電気器具の消費電力を確認してください。
インバーター搭載が搭載され、安定した電力波形を発電できるものでないと故障する機器もあるので注意してください。

ご近所で、こんな「共助」ができれば

停電時、近所でも停電している地域としていない地域ってありますよね。



災害時、発電機が有ったら

災害時には停電が発生します。

- 地震**：地震の揺れ、液状化で電柱が倒れたり、電線が揺れで切断します。
- 強風**：電柱が倒れたり折れたり、倒木により電線が切断します。
- 大雨**：土砂崩れ、道路崩壊等により電柱が倒れたりします。
- 大規模火災**：電線が燃え切断します。

停電の規模は、復旧は何時頃？

- ◇**大規模地震では、市内のほぼ全域**で停電すると考えます。**令和元年「房総半島台風」**では**市内で約17,400軒が停電し、全体の約70%**が停電しました。
- ◇インフラの復旧（東日本大震災参照）、**電気：1週間**、水道：1～3週間、ガス：2～5週間（プロパン等を活用すると3～4日）とされています。
- ただし、**令和元年「房総半島台風」**では、**一部で13日間停電**しています。

停電時に困ること。

- ◇**照明**：暗い中での生活は不安で不便です。
懐中電灯では、照明できる範囲が限られます。電池がどれほど持つかも気になります。
- ◇**水**：山武地区では、地下からポンプで水を汲み上げ、飲料水、生活用水として使用しています。停電で水が汲み上げられなくなります。
一部の地域では、災害時用として井戸を設置しているところがあります。電気で汲み上げている場合は汲み上げができなくなります。
- ◇**食料**：米があっても、電気炊飯器が使えなくなります。
非常食としてカップ麺やアルファ米があっても、電気ポットで軽易にお湯を沸かせません。
- ◇**情報通信**：適切、効率的な行動を行う場合には、正確な情報を収集することが重要です。
情報収集の主な手段の一つとして携帯電話があります。携帯電話は主要な通信手段でもありますが、内部のバッテリーが切れた場合使用できなくなります。
テレビやPCも重要な情報ツールですが、停電時には使用できなくなります。
- ◇**空調**：近年の異常気象により、季節は短い春と秋により、夏と冬の2極化が進んでいると言われています。そのため、災害時には暑さと寒への対応が必要となります。
エアコンや電気ストーブ、扇風機等が使用できなくなり、厳しい環境での避難生活となります。

発電機の有意性

◆発電機が使用できる場合、通常的生活時の様に家庭内の電気器具を自由に稼働させることは不可能ですが、限られた電力でその時々に必要な電気器具を稼働させ、ある程度の生活環境を維持することが可能となります。保有している発電機の活用について理解することが必要だと考えます。